

アライグマ・アナグマ・タヌキ 生態と対策



生態	対策
(共通) 何でも食べる雑食性 アライグマ… 繁殖力が高い アナグマ… 気性が荒い タヌキ… 大食漢	集落や農地からエサを無くす 草刈りをして、隠れ場所を無くす 廃屋や床下・屋根近くの間隙を防ぐ

こんなサインに要注意!

足跡	アライグマ	アナグマ	タヌキ
	指5本で長い		指が短く、爪が長い
			指4本で犬に似ている

足跡だけでは獣種を特定できないことが多いので、他の痕跡とあわせて総合的に判断してください。

糞	アライグマ	アナグマ	タヌキ
	エサにより色・形は異なる		ため糞は小規模テカテカしている
			糞粒の山になる

糞も被害獣を特定するための重要なサインになります。

カラス・ヒヨドリなどの鳥類 生態と対策



生態	対策
カラス ●何でも食べる ●天敵はいないに等しい ●えさを食べるために道具を使う	農地全体に防鳥網をかける ※防鳥テープ、音などは一時的に効果があるものの、すぐに慣れるため、道具を複数組み合わせるなどの工夫が必要
ヒヨドリ ●主に植物の種子や果実を食べる ●警戒心が強い	農地全体に防鳥網をかける ※柑橘類への食害は袋がけが効果的



柵で守る!

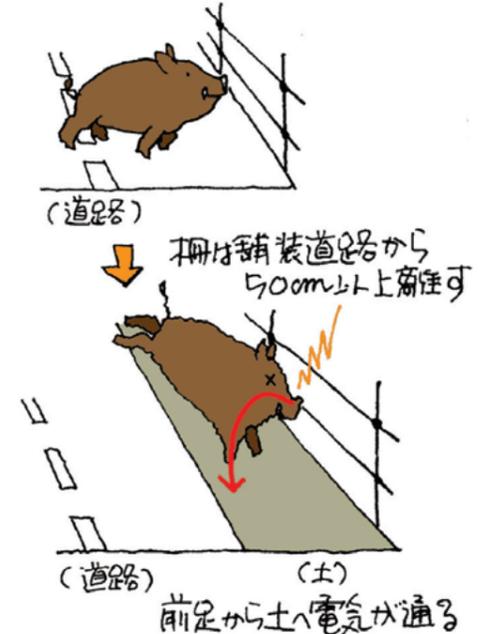
ここではいくつかの柵の設置のポイントと特徴を解説します。
 どの柵にも共通して注意したい点が二つあります。1つ目は**しっかり囲むこと、すき間をあけないこと**です。片方が川だから「コの字」の柵でいいということはありません。しっかりと農地を囲むことが大切です。
 2つ目は、柵の外から、作物等(エサ)が食べられないように、**柵は、作物から離して設置する**(作物を柵から離して植える)ことが重要です。
 ※イノシシ達は、一度、柵越しにエサを食べると、柵のそばにはエサがあると思ってしまう。



電気柵 設置のポイント

イノシシやシカに対してショックを与えることができる電気柵は、いくつかの約束事を守ったときに初めて効果が発揮されます。**電線を張る高さ、漏電対策、適正な電圧のチェック**などです。

- イノシシは、鼻先だけがよく通電します。毛皮部分は感電しません。
- 前足が土の上にあるよう、舗装道路から50cm以上離して設置します。
- 雑草が電線に接触し漏電しないよう、草刈りと見廻りを徹底します。
- 気候による電圧低下も配慮し、電圧は4000V以上確保します。
- イノシシは、最初に棒を押し倒す習性があります。電気を与えるために、ガイシは外側(イノシシ側)にします。
- 50m~100mに1箇所、上下の電線をつなぎます(どちらかの電線が切れたときの備えです)。



電気柵の設置例。ガイシの向きは外側に柵の周りの除草も大切



電圧のチェックはおこたらずに